

平成26年度 彦根統合新校設置懇話会 第1回会議 概要

1 日 時

平成26年5月28日(水) 14:00～16:00

2 場 所

県立彦根翔陽高等学校 セミナーハウス

3 会議の内容

(1) 報告事項

- 彦根統合新校の校名選定について

(2) 意見を伺う事項

- 統合新校の校歌、校章、制服の選定について
- 統合新校での取組について

4 出席者

(1) 委 員

磯谷 直一	委員	(彦根市企画振興部 部長)
岡崎 正彦	委員	(彦根市PTA連絡協議会 顧問)
杉本 定幸	委員	(彦根翔陽高等学校同窓会 会長)
福渡 努	委員	(滋賀県立大学人間文化学部 教授)
藤田 隆行	委員	(彦根西高等学校同窓会 会長)
宮野 由紀絵	委員	(彦根西高等学校 学校評議員)
八谷 啓子	委員	(彦根翔陽高等学校 学校評議員)

(2) 統合新校開設準備室

茶谷 不二雄	彦根統合新校開設準備室長	(彦根翔陽高等学校長)
猪田 章嗣	彦根統合新校開設準備室参事	(彦根西高等学校長)
森田 恭司	県教育委員会事務局学校支援課参事	

5 主な意見

(1) 彦根統合新校の校名選定について

- 校名に「館」がついていることに対して、近畿地方の公立の高等学校には少なく、斬新な印象であるという意見を多く聞いている。

(2) 統合新校の校歌、校章、制服について

- 新校の校歌は、伝統があり、また著名な作曲家が作った彦根西高校の校歌を残してほしい。曲は彦根西のものを編曲して残し、歌詞については、歌詞中の「彦根西」を「翔西館」と入れ替えるか、または、彦根翔陽のものを参考に使用してはどうかという思いがある。
- 曲は、彦根西高校の方が良い。彦根西の歌詞は七五調で彦根翔陽高校は五七調なので、どちらかの曲調にどちらかの歌詞を当てはめるということはできない。
- 彦根西高校の校歌は歴史を感じさせるすばらしいものではあるが、今の生徒には合わないと思う。両校ともなくなることは同じだし、同窓生としての思いも同じはず。
- 新しい学校ができるのだから、両校の校歌を合わせるというような折衷案ではなく、これから入学する生徒にとって良いと思う校歌を、新しく作った方が良い。
- 一般公募をして、全く新しい校歌にすべき。
- 校歌について、作詞は公募し、作曲は専門家をお願いすればどうか。例えば、滋賀県にゆかりのある著名な音楽家などをお願いするのも良い。
- 新校の制服について、平成26年度に制服選定委員会を設置した。この制服選定委員会を中心に、平成26年度中に制服を選定する予定である。
- 特に女子生徒にとって制服は、進学する高校を検討する際の要素のひとつである。
- 今日いただいた意見を参考に校歌、校章について準備室で検討し、次回は案をお示ししたい。

(3) 統合新校での取組について

- 平成27年6月には各中学校に出向き、8月には外部会場で学校説明会を実施し、魅力ある新校の教育内容および平成28年度からの2年間、3校が同じ校地で学ぶことについて詳しく説明する。
- 中学2年生が進路学習を始める今年度3学期に間に合うように、リーフレットを作成する予定である。

(4) その他

- 平成28年度当初、新入生および両校在校生の教育活動に支障が出ないように、校舎だけでなく自転車庫やグラウンド、その他すべての学校施設の整備完了を希望する。
- 平成28年度からの2年間、3校が同じ校地で学ぶことについて、例えば彦根西高校に入学して彦根翔陽高校として卒業すると誤解している一部の生徒、保護者がいるのではないかと心配している。また中学校関係者にも十分理解されていないのではないかと不安を感じる。
- 3校が並立する統合方法について、別々の校地で終えられる形での統合方法についての再考をお願いする。